

Bank of Japan Toyama Local Office



富山県金融経済クォーターリー
(2005年秋)

1. 概況

富山県の景気は、生産面で増加基調に転じるなど、緩やかな回復を続けている。

この間、企業の景況感（9月短観調査・富山県業況判断）をみると、製造業（6月+14 9月+17）、非製造業（同 10 8）ともに前回調査（6月）に比べ改善した（全産業：同±0 +3）。

最終需要面をみると、企業の設備投資は製造業を中心に増額修正の動きが顕著になっているほか、個人消費も持ち直しが続いている。この間、住宅投資、公共投資は前年を下回って推移した。

製造業の生産動向をみると、金属製品は弱含んでいるものの、一般機械、化学は増勢を持続しているほか、電気機械ではIT関連分野の在庫調整の完了に伴い、デジタル家電関連部品や携帯電話関連部品を中心に増加基調に転じるなど、全体としても増加基調に転じている。

雇用面では、有効求人倍率が16か月連続で1倍を超えるなど、改善傾向が続いている。

先行きについては、原油・素材価格上昇の影響が懸念され、今後の業況について慎重な見方をする向きも少なくないが、製造業がけん引する格好で緩やかな回復を続けていくものとみられる。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

日本銀行富山事務所

〒930-0046 富山市堤町通り1-2-26 北陸銀行本店

Tel：076-424-4471、Fax：076-494-1158

ホームページアドレス：<http://www3.boj.or.jp/toyama/>

2. 個人消費

個人消費をみると、百貨店・スーパーの売上高は前年を下回ったものの、百貨店では主力の衣料品が持ち直し傾向にあるほか、引続き宝飾品、美術品等の高額商品に動意が見られる。また、乗用車販売は新車投入の端境期という事情等もあって前年をやや下回ったが、基調としては堅調な地合いにあるほか、家電販売も薄型TV、DVDレコーダー等を中心に堅調であり、個人消費全体としては、引続き持ち直しの動きが続いている。

7～9月の県内の百貨店・スーパーの売上高については、引続き前年割れ（7～9月：既存店前年比 4.1%）となったが、百貨店では主力の衣料品がクールビズ効果もあって持ち直したほか、宝飾品、服飾小物（アクセサリー、ブランド小物）、美術品等の高額品にも動意がみられた。

10月入り後も、百貨店では秋物衣料品に動意がみられるほか、食料品も堅調に推移するなど、持ち直し基調が続いている。

7～10月の乗用車新車登録台数（含む軽）をみると、小型車・軽乗用車は前年を上回ったが、新車投入の端境期ということも影響し普通車が減少したことから、全体では前年をやや下回った（7～10月：前年比 1.5%）。

先行きについては、需要自体は底固く推移していることから、ディーラー筋では新車投入効果を期待している。

7～9月の家電販売をみると、薄型テレビ、DVDレコーダー、洗濯機（高機能品）、パソコン（低価格品）等を中心に堅調な販売地合いとなった。

先行きについても、デジタル家電、白物家電を中心に堅調な地合いが続く見込み。

7～9月の旅行取扱高をみると、国内旅行では愛知万博商品、北海道、沖縄旅行が人気となったほか、海外旅行ではハワイ、ヨーロッパ旅行（夫婦、熟年層が中心）が人気となるなど、全体として底固く推移している。

先行きについても、堅調な地合いが続く見込み。

7～9月の宇奈月温泉の宿泊客数は、愛知万博開催（9/25日閉幕）の影響を主因に、引続き前年割れとなった（7～9月：前年比 9.7%）。

10月入り後は宿泊客数の持ち直しの兆しが窺われる。

3．住宅投資

新設住宅着工戸数は、分譲（7～9月：前年比2.8倍）が大幅に増加したものの、ウェイトの高い持家（同 15.1%）、貸家（同 34.9%）が減少したことから、全体では前年を下回って推移している（同 15.4%）。

先行きについては、引続き住宅ローン金利が低水準であることや、地価下落に伴う宅地価格の値頃感から需要は底固いものの、前年の住宅ローン減税適用による駆け込み需要の反動から、全体では前年比横這い圏内ないし幾分弱含んで推移するものとみられる。

4．設備投資

設備投資動向（05/09月北陸短観）をみると、2005年度計画は製造業（05年度前年比：+7.9%）、非製造業（同+8.1%）ともに前回調査時（6月）から増額修正され、高水準の前年度をさらに上回る計画となっている（全産業：同+8.0%）。この間、7～9月の建築着工床面積も大幅に増加した（前年比+41.0%）。

前回調査時と比較すると、高操業が続いている一般機械、化学（医薬品）やIT関連分野の在庫調整が完了し増産に転じた電気機械など、製造業の上方修正が目立つ（製造業：前回比修正率+10.5%、非製造業：同+1.3%）。

5．公共投資

7～9月の公共投資は、国、県、市町村ともに減少したことから、全体でも前年を下回った（公共工事請負額：7～9月前年比 12.7%）。

先行きについては、北陸新幹線関連工事等が見込まれるものの、予算の抑制基調に変化がみられないことから、請負額全体では弱含みで推移する見込み。

6 . 生 産

製造業の生産動向をみると、金属製品（アルミ建材）は引続き弱含んでいるものの、一般機械、化学（医薬品）は増勢を持続しているほか、主力の電気機械ではIT関連分野における在庫調整の完了から、デジタル家電関連部品や携帯電話関連部品を中心に需要が回復し、増加に転じており、全体でも増加基調に転じている。

先行きについても、一般機械、電気機械を中心に増加基調が続く見込み。

主要業種の生産動向

<p>金属製品 (アルミ建材)</p>	<p>弱含みで推移している。</p> <p>ビル向けは、分譲マンションや工場向けを中心に底固く推移しているが、主力の住宅向けの売上げが鈍化していることもあって弱含みで推移している。</p> <p>先行きについても、同様の基調が続く見込み。</p>
<p>電気機械</p>	<p>増加に転じている。</p> <p>主力の電子部品は、IT関連分野における在庫調整の完了から、デジタル家電関連部品（液晶部材等）や携帯電話関連部品（主として中国向け）の需要が回復しており、増加に転じている。また、これまで弱含んでいた電源装置も主力の国内向け情報通信関連や半導体製造装置向けで受注が持ち直している。</p> <p>先行きについても、同様の基調が続く見込み。</p>
<p>化 学</p>	<p>緩やかに増加している。</p> <p>塩化ビニールは国内需要の低迷等から弱含んでいるが、主力の医薬品がOEM（相手先商標生産）受注増などから引続き増加基調を辿っているほか、苛性ソーダが国内需要の増加から強含みで推移している。</p> <p>先行きについても、主力の医薬品を中心に緩やかに増加する見込み。</p>
<p>一般機械</p>	<p>増勢を持続している。</p> <p>主力の工作機械、工具、軸受は自動車関連メーカー向けを中心に高水準の操業を持続している。</p> <p>先行きについても、同様の基調が続く見込み。</p>
<p>鉄鋼・非鉄</p>	<p>高水準横這いで推移している。</p> <p>特殊鋼、タングステンでは、旺盛な内外需を背景にフル生産体制を持続している。</p> <p>先行きについても、高水準横這いで推移する見込み。</p>

7 . 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善傾向が続いている。

有効求人倍率（季調済）は、このところ有効求人数の増加が頭打ち傾向にあるものの、有効求職者数は減少を続けていることから、昨年6月以来16か月連続で1倍を超えて推移（9月1.07倍）するなど、雇用の改善傾向が続いている。

県内企業の夏季賞与支給状況（富山県経営者協会まとめ・全産業平均）をみると、前年比+3.3%となった。

8 . 企業倒産

8～10月の企業倒産（負債総額1,000万円以上）件数は、21件と低水準ながら前年（16件）を上回った。

負債総額は、10億円以上の大型倒産が2件発生したことから、全体では前年比大幅な増加となった（前年比3.2倍）。

9 . 預金・貸出金

実質預金は、公金預金が増加したものの、個人預金における他の預かり資産（個人向け国債、投信等）へのシフトもあって、前年を下回った（9月：前年比 1.8%）。

貸出は、地公体向けや個人向けが引続き増加したものの、法人向けが前年を下回ったことから、全体では前年比減少した（同 2.5%）。

以 上

主要金融経済指標

1. 実体経済関連指標

(前年比 %)

	百貨店+スーパー売上高		乗用車新車登録台数				温泉宿泊客数	
	富山県		富山県		全国		宇奈月温泉	
	(既存店)	(全店)	(既存店)	除く軽	除く軽	除く軽		
2002年	-4.4	5.7	-2.2	-0.1	-0.5	0.0	-0.9	-4.1
2003年	-5.4	3.8	-3.2	-2.0	-2.7	-1.6	-1.7	0.9
2004年	-2.2	1.5	-3.5	-0.5	-3.6	1.1	-0.8	5.1
2004/ 4-6月	-2.5	-2.4	-3.9	-3.7	-8.5	-3.3	-6.8	19.1
7-9月	-2.6	6.1	-3.4	1.2	-0.1	2.3	1.9	-3.3
10-12月	-3.2	4.6	-4.5	3.1	4.3	3.1	3.8	1.1
2005/ 1-3月	-4.6	2.6	-4.0	-2.2	0.4	-1.3	-0.2	-0.1
4-6月	r -5.3	r 1.1	r -2.4	6.0	6.6	8.4	9.1	-13.6
7-9月	p -4.1	p -4.5	p -2.4	-1.0	-1.9	-0.7	-2.8	-9.7
2004/ 9月	-2.4	6.6	-3.5	2.4	-0.4	2.2	1.8	2.0
10月	-4.3	4.3	-4.2	-9.2	-6.4	-5.3	-3.8	-2.0
11月	-3.3	4.4	-5.3	8.3	8.6	9.6	10.4	-0.6
12月	-2.3	5.0	-4.2	13.5	13.7	5.5	5.0	10.9
2005/ 1月	-3.5	3.1	-1.2	11.3	13.0	-1.1	-1.2	21.9
2月	-2.1	5.5	-6.7	-4.7	0.4	-0.4	0.6	-1.4
3月	-8.5	-0.6	-4.5	-4.4	-2.6	-1.9	-0.3	-16.3
4月	-4.8	0.7	-2.3	5.9	7.6	8.9	12.3	-25.0
5月	-5.7	1.6	-3.1	5.6	4.3	7.9	6.8	-11.6
6月	r -5.6	r 0.9	r -1.9	6.5	7.7	8.3	8.6	-7.7
7月	-3.8	-4.7	-1.7	0.5	0.3	-2.0	-4.5	-6.4
8月	-3.1	-3.3	-3.0	-0.8	-4.2	-0.3	-3.7	-7.1
9月	p -5.8	p -5.8	p -2.7	-2.5	-2.5	0.4	-0.6	-15.3
10月	n.a.	n.a.	n.a.	-2.9	-3.3	-1.6	-5.0	n.a.
資料出所	中部経産局		経産省	富山県自動車販売店協会他		日本自動車販売協会連合会他		宇奈月温泉旅館協同組合

(前年比 %)

	新設住宅着工戸数				建築着工床面積		公共工事請負額					
	富山県			全国	富山県		富山県			全国		
	持家	貸家	分譲		富山県	全国	国	県	市町村			
2002年	-12.9	-2.9	-25.7	-21.0	-1.9	2.7	-5.2	-13.2	-0.6	-15.3	-11.6	-7.2
2003年	-1.8	-3.5	9.1	-37.9	0.8	-19.4	2.7	-15.4	-9.0	-12.4	-11.9	-13.7
2004年	8.4	1.9	17.0	38.0	2.5	42.6	10.9	2.2	12.8	-2.4	-3.5	-11.1
2004/ 4-6月	-0.3	-7.8	8.9	2.3倍	-3.7	76.5	8.5	-7.6	-52.8	-3.0	-10.0	-10.4
7-9月	27.9	14.9	63.6	3.8	9.4	12.5	13.3	-10.1	21.3	-11.5	-10.1	-12.4
10-12月	1.2	-0.6	2.8	9.5	-0.1	55.1	5.1	-9.7	-29.7	-3.2	6.5	-15.2
2005/ 1-3月	10.2	-10.0	19.5	2.0倍	1.5	-7.1	9.6	51.6	2.0倍	20.0	14.9	-5.5
4-6月	-10.5	-18.7	3.9	16.4	2.0	-55.9	10.3	-6.0	19.9	-5.2	-5.5	-6.4
7-9月	-15.4	-15.1	-34.9	2.8倍	5.0	41.0	-7.3	-12.7	-15.0	-25.5	-3.3	-3.0
2004/ 8月	20.2	13.8	67.4	-23.8	10.5	9.5	22.4	-19.0	-52.7	-12.3	-22.5	-2.6
9月	44.2	17.3	2.4倍	-3.7	10.1	85.1	9.5	-7.8	50.3	-24.4	5.8	-11.4
10月	-2.8	-1.2	4.7	-41.2	1.5	50.4	8.2	-8.9	-22.4	-22.0	4.5	-22.4
11月	13.7	12.0	14.3	31.6	0.2	2.3倍	8.9	-5.8	-34.9	18.2	21.6	-4.2
12月	-5.8	-13.8	-7.9	2.1倍	-2.0	16.8	-1.6	-15.3	-39.0	18.3	-1.9	-14.6
2005/ 1月	20.6	-26.1	40.7	2.1倍	6.9	-41.3	17.6	23.1	2.9倍	5.5	-36.5	-12.6
2月	9.0	-7.1	43.8	28.1	0.4	41.3	31.5	26.3	-5.3	5.6	47.2	-3.2
3月	4.4	-4.7	-3.9	2.8倍	-2.7	-1.3	-14.5	65.3	2.1倍	26.9	36.6	-3.1
4月	-32.6	-21.6	-50.2	-52.2	0.6	-48.6	10.3	-26.4	-11.0	-22.5	-46.8	-11.3
5月	6.6	-16.9	73.2	68.2	3.0	-76.3	15.5	-17.9	2.1倍	-29.6	2.0	-0.4
6月	0.7	-17.1	23.1	3.1倍	2.4	-28.2	6.5	21.8	12.7	21.5	17.7	-4.7
7月	-22.2	-6.5	-51.0	2.0倍	8.3	35.2	-0.8	-20.6	-37.9	-33.3	-6.7	-12.7
8月	-10.7	-21.5	-38.1	4.4倍	7.0	3.3	-4.5	5.0	4.1倍	9.6	-25.5	-0.2
9月	-12.3	-17.5	-11.8	50.0	-0.2	87.5	-16.0	-17.5	-48.7	-35.0	28.5	4.1
資料出所	国交省				国交省	東日本建設業保証(株)他						

1. 建築着工床面積...全建築物計から住居用を差し引いたもの。

2. 公共工事請負額...「年」の計数は年度ベース。

3. pは速報値、rは訂正值を示す(以下、同じ)。

	鉱工業生産指数								有効求人倍率 [季調済・倍]		(前年比%) 新規求人数	
	富山県				全国				富山県	全国	富山県	全国
	季調済	電気機械	一般機械	金属製品	化学	季調済	富山県	全国				
2002年	4.2		27.9	-7.1	-6.0	9.5	-1.3	0.57	0.54	-1.9	0.6	
2003年	4.8		10.4	13.8	-4.3	5.9	3.3	0.75	0.64	15.5	12.0	
2004年	2.3		-3.8	24.4	2.7	3.5	5.5	1.00	0.83	12.7	13.7	
2004/ 4-6月	2.4	0.6	6.1	40.6	0.1	-7.1	7.2	1.9	0.99	0.80	17.1	13.9
7-9月	3.8	1.0	-1.9	10.0	7.1	10.7	6.4	-0.1	1.03	0.85	9.6	11.8
10-12月	-0.6	-3.2	-18.4	25.3	5.6	6.6	1.8	-0.9	1.06	0.90	9.4	12.3
2005/ 1-3月	-2.0	1.4	-13.5	10.5	-0.2	-0.7	1.4	1.7	1.14	0.91	18.2	9.3
4-6月	1.2	1.8	-8.9	18.3	2.7	5.0	r 0.3	-0.4	1.18	0.94	9.5	10.6
7-9月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	p 0.0	p -0.3	1.11	0.97	-1.0	9.1
2004/ 8月	2.1	-1.1	3.4	4.9	9.4	-6.4	9.6	-0.3	1.04	0.84	9.5	13.5
9月	4.5	-0.7	-13.1	8.8	5.3	38.4	4.0	-0.6	1.04	0.86	4.6	11.6
10月	-0.9	-2.1	-19.9	32.4	-1.9	18.5	-0.9	-1.1	1.05	0.89	4.8	6.2
11月	2.9	1.0	-16.5	25.2	9.2	16.3	4.4	1.1	1.07	0.91	18.7	21.6
12月	-3.8	-2.7	-18.8	19.5	10.5	-11.9	1.9	-0.2	1.06	0.90	5.6	10.3
2005/ 1月	-3.5	1.7	-25.0	50.1	4.3	-11.8	2.0	3.2	1.10	0.91	16.2	8.8
2月	-0.4	0.7	-7.6	7.6	-2.9	4.5	1.0	-2.3	1.15	0.91	24.5	11.6
3月	-2.1	2.1	-7.2	-11.8	-1.5	4.3	1.2	-0.2	1.17	0.91	14.5	7.7
4月	-0.1	0.8	-5.1	23.9	-4.7	-0.5	0.3	1.9	1.21	0.94	5.3	6.1
5月	4.5	-0.4	-11.5	15.5	6.0	25.7	0.3	-2.8	1.19	0.94	14.9	15.5
6月	-0.4	-0.9	-9.7	16.1	7.0	-5.3	r 0.2	r 1.6	1.15	0.96	9.2	11.1
7月	-2.6	0.7	-9.6	2.4	-4.4	-0.3	-2.3	-1.2	1.14	0.97	-5.0	6.0
8月	-0.2	-1.7	5.8	-3.6	4.6	-12.5	1.5	1.1	1.11	0.97	2.0	13.7
9月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	p 1.0	p 0.2	1.07	0.97	0.4	7.8
資料出所	富山県						経産省		富山労働局	厚労省	富山労働局	厚労省

	常用雇用指数		一人当り 名目賃金指数		所定外労働時間指数		消費者物価指数		(前年比%) 企業倒産					
	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山市	全国	倒産件数				負債総額	
									富山県 (件)	前年比	全国 (件)	前年比	富山県	全国
2002年	-1.7	-0.7	-4.4	-2.9	-1.0	1.1	-1.1	-0.9	157	25.6	19,087	-0.4	2.3倍	-16.6
2003年	-4.4	-0.4	0.8	-0.7	6.3	4.6	-0.4	-0.3	114	-27.4	16,255	-14.8	-47.6	-16.0
2004年	1.2	0.6	-0.9	-0.7	10.1	3.3	-0.1	0.0	93	-18.4	13,679	-15.8	-1.2	-32.5
2004/ 4-6月	1.8	0.6	-7.4	-1.0	8.6	3.7	-0.6	-0.3	25	0.0	3,403	-21.4	63.3	-36.0
7-9月	2.0	0.7	3.5	-0.4	5.0	3.7	-0.2	-0.1	17	-51.4	3,310	-14.1	-83.3	-46.8
10-12月	0.9	0.7	2.1	0.0	10.6	1.6	0.6	0.5	17	6.3	3,297	-8.8	54.0	-8.2
2005/ 1-3月	-2.4	0.6	-0.1	0.0	2.4	0.4	0.1	-0.2	22	-35.3	3,176	-13.4	-79.3	-21.8
4-6月	-1.2	0.5	2.7	r 1.0	13.5	1.6	0.2	-0.1	16	-36.0	3,225	-5.2	-4.9	-7.2
7-9月	n.a.	p 0.5	n.a.	p 0.4	n.a.	p 1.0	-0.1	-0.3	21	23.5	3,163	-4.4	2.1倍	-9.3
2004/ 9月	1.5	0.7	-1.1	-0.6	2.6	2.1	0.0	0.0	3	-72.7	1,090	-10.1	-79.4	-56.7
10月	2.0	0.7	-1.8	-0.6	9.8	1.0	0.4	0.5	4	-33.3	1,124	-17.8	-69.6	-7.8
11月	0.1	0.7	2.5	2.0	10.0	2.0	1.0	0.8	3	-25.0	1,064	-4.5	-15.5	-55.5
12月	0.7	0.8	3.9	-0.6	12.1	1.8	0.4	0.2	10	66.7	1,109	-2.0	2.4倍	87.4
2005/ 1月	-3.8	0.7	-3.3	0.2	2.1	2.1	0.1	-0.1	4	-71.4	1,022	-13.5	-58.0	35.3
2月	-1.8	0.6	-0.2	0.1	1.0	0.0	-0.3	-0.3	7	-12.5	1,014	-12.5	-53.0	-30.7
3月	-1.4	0.5	3.5	-0.4	4.0	-0.9	0.4	-0.2	11	-8.3	1,140	-14.2	-86.3	-38.4
4月	-1.2	0.4	2.8	0.6	14.5	1.8	0.5	0.0	5	-58.3	946	-23.5	-25.8	-52.0
5月	-1.2	0.5	2.0	0.6	9.0	1.0	0.5	0.2	5	66.7	1,072	-1.6	7.8倍	40.8
6月	-1.0	0.6	2.9	r 1.5	16.7	2.1	-0.5	-0.5	6	-40.0	1,207	12.0	-85.9	37.7
7月	-0.8	0.5	-2.5	1.3	0.0	1.0	0.1	-0.3	6	20.0	1,024	-8.8	-24.7	-16.9
8月	-0.6	0.5	-1.9	-1.1	8.4	1.0	-0.3	-0.3	9	0.0	1,152	5.0	-18.7	-34.5
9月	n.a.	p 0.5	n.a.	p 0.8	n.a.	p 1.0	-0.1	-0.3	6	2.0倍	987	-9.4	9.1倍	27.0
10月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	6	50.0	n.a.	n.a.	4.2倍	n.a.
資料出所	富山県	厚労省	富山県	厚労省	富山県	厚労省	富山県	総務省	(株)東京商工リサーチ					

1. 鉱工業生産指数…季調済計数は、前月(期)比%。
2. 有効求人倍率…富山県の四半期項目については、富山労働局公表の季調済計数を基に単純平均。
3. 常用雇用指数、一人当り名目賃金指数、所定外労働時間指数…事業所規模5人以上。
4. 倒産件数、負債総額…対象は、負債総額1,000万円以上。

2 . 金融関連指標

(前年比 %)

	実質預金 (末残)		貸出金 (末残)	
	富山県	全 国	富山県	全 国
2004/ 8 月	-2.0	0.8	-3.7	-2.9
9 月	-2.8	0.9	-5.3	-2.7
10 月	-1.3	2.0	-3.1	-2.1
11 月	-2.3	1.9	-5.3	-2.8
12 月	-0.9	1.4	-4.1	-2.5
2005/ 1 月	-1.6	1.6	-5.3	-2.7
2 月	-1.1	1.3	-5.7	-3.0
3 月	-0.9	1.4	-2.5	-3.0
4 月	-1.5	1.7	-0.3	-2.2
5 月	-1.8	1.3	-1.8	-2.4
6 月	-0.9	1.4	-1.1	-2.4
7 月	-1.1	1.6	-1.6	-2.0
8 月	-1.5	1.8	-1.7	-1.4
9 月	-1.8	2.6	-2.5	-0.8
資料出所	日 本 銀 行 金 沢 支 店			

1. 実質預金は、国内銀行（銀行勘定）の計数。なお、実質預金は、表面預金から切手手形を除いた計数。
2. 貸出金は、国内銀行（銀行勘定）の計数。
3. 富山県は、県内に所在する店舗における計数。
4. 富山県の貸出金については、一部先における貸出資産の勘定科目変更に伴い2004/3月以降計数を遡及訂正。